

# とちぎ義博 議会レポート

第10号 2001年春号  
 発行者:福岡市議会議員 栃木義博  
 〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-13-305  
 TEL.845-7669 FAX.845-8511  
 E-mail:tochigi@bronze.ocn.ne.jp

3月の議会で、栃木義博が行った質問の一部を紹介し、スペースの都合上、限られた内容しか掲載できず残念です。ご意見や質問は、はがきやメールのほか、毎週月曜日午前7時15分から1時間半、西新臨山口交差点での立ち寄り続けている市民との直接対話の時間にお寄せください。



## 地方から国を見直す!! 「とちぎ義博 浜風のつどい」へGO!!



**とちぎ義博 『市政報告』**  
 議員一期目の折り返し点に立って、2年間の議会活動を振り返り、これからの2年間を展望します。

**福岡政行 『永田町ここだけの話』**  
 市政をかえるには、国の政治を変えなくては。  
 7月29日の参議院選挙、カギを握っているのは市民です。

- 日時/2001年6月3日(日) 14:30~16:00 (14:00より受付)
- 場所/シーホークホテル&リゾート 35階 (福岡ドーム隣) 中華レストラン『龍殿』
- 参加費/5,000円 (この集いは「政治資金規正法第8条の2」に基づく政治資金パーティです)

※下記にご連絡ください。チケットと振込用紙を送付いたします。  
 ○主催・申込先/ふくおか都市環境研究会 (代表 栃木義博)  
 TEL.711-4736 FAX.732-4055 (議会控室)  
 TEL.845-7669 FAX.845-8511 (事務所)



**栃木義博 プロフィール**  
 ○信条/現場主義=暮らしの現場、働く現場、現場の思いを政策に。  
 ○課題/子どもたちに大きな借金を残さない健全な都市づくりをすすめます。※思いっきり暮らし重視へ、安全・安心の都市づくりをすすめます。※クルマに依存しないヒト中心の都市づくりをすすめます。  
 ○議会/所属会派「民主・市民クラブ」(3名)。第5常任委員会委員(土木・水道・下水道)、都市交通対策特別委員会委員など。  
 ○略歴/1953年生まれ。47歳。'99年4月初当選。「福岡の都市づくりと交通を考える会」事務局長。福岡市早良区百道浜一丁目在住。  
 ○著書/交通計画集(共著、地域科学研究会)、新ふるさとバス白書(共著、技報堂出版)など。

**ゲスト:福岡政行さん**  
 ○政治学を学ぶうえで、机上の研究よりもフィールドワークを重視し、何事にも現場を観察することが肝要というのがモットー。全国各地から得た生の情報をもとに、実証的政治学を研究している。  
 ○1945年東京都生まれ。'73年早稲田大学大学院政治学専攻科博士課程修了。駒沢大学助教授などを経て、'92年より白鳥大学法学部教授(政治学)。著書に「永田町の通信簿」、「日本の選挙」など多数。

西日本新聞 (2001.3.8)  
**「積極的」に「取り組む」**  
 福岡市議会は7日、ふくおか都市環境研究会の「新福岡空港」に関する提言を、全会一致で採択した。提言には、新空港の建設に必要となる用地の確保や、周辺地域の開発などについて、積極的に取り組むことが求められている。また、新空港の建設に必要となる用地の確保や、周辺地域の開発などについて、積極的に取り組むことが求められている。また、新空港の建設に必要となる用地の確保や、周辺地域の開発などについて、積極的に取り組むことが求められている。

**論点 「新空港の議論不足」**  
 福岡市議会議員 栃木義博  
 現在の福岡空港を利用する離発着便が空港施設の容量限界に達しつつあるため新福岡空港建設(津屋崎沖に二十年後の開業をめざす)の必要があるとして、地元熱意を国に示すための「新福岡空港建設促進期成会」が三月末に結成された。県や福岡市、経済界に加えて県議会と福岡市議会の議員有志が名を連ねましたが、わたしはこれに加わっていません。(民主市民クラブの三名とも)  
 理由はふたつです。ひとつは、二兆円を超える巨額の事業費。国や県市、企業など誰が幾らを負担するのかが明らかでなく、そもそも実現可能な計画なのか疑問が残ること。ふたつは、新北九州空港や佐賀空港、成金、新設会、民主・市民クラブの各会派による「新空港の議論不足」が、新福岡空港の建設に必要となる用地の確保や、周辺地域の開発などについて、積極的に取り組むことが求められている。また、新空港の建設に必要となる用地の確保や、周辺地域の開発などについて、積極的に取り組むことが求められている。

### 平成13年度予算議会 (3月7日)の代表質問から

- 談合排除・入札制度の改革について
- 下水道料金の値上げについて
- 交通のバリアフリーについて
- 情報公開制度の見直しについて

#### 入札情報漏洩談合事件の再発防止

**(栃木)**先ごろ下水ポンプ場建設の入札情報の漏洩をめぐる収賄容疑で現職局長が逮捕されましたが、事の本质はこのような事件を引き起こしてしまう現行入札制度の欠陥にあります。再発防止に向けて市民、有識者、議会を加えた第三者機関を設置して入札制度の改革をすすめるべきではないですか。

#### 入札制度の抜本改革を約束

**(福岡市)**入札契約業務について透明性、客観性および競争性を高め、より公正で自由な競争の実現を図るため、談合防止対策を含む入札制度の抜本的な改善に向けて、全庁的に検討をすすめている。早期に学識経験者などの幅広い意見を聞いて最終報告をと

#### 水道料金の改定 経費削減

**(栃木)**平成13年度の下水道料金の値上げを予定していますが、赤字経営を脱するため今後の料金改定をどのように考えていますか。また、今回の値上げに並行して経費削減をどのようにすすめるのか、質します。

#### 補助金減らして 財政健全化

**(福岡市)**下水道使用料を平均6.7%(標準世帯で月額85円)値上げしたい。平成13年度からの財政収支計画を策定して、一般会計からの補助金の減少に努めるとともに、下水道施設の建設コストの縮減や、運転管理経費の節減を図るなどして経営の効率化をすすめる。下水道財政の健全化を図っていく。(山崎市長)

#### 交通施設のバリアフリー対策

**(栃木)**昨年11月に施行された交通バリアフリー法では、駅などのハード整備だけでなく、「職員に対する適切な教育訓練」などのソフト面を重視しており、本市としても何らかの支援が必要であると思えますがどうですか。また、法の精神を具体的に生かすには、高齢者や障害者の意見を反映させるための検討委員会を設置すべきだと考えますが、どのように取り組めますか。

#### 障害者・高齢者などで 検討委員会を設置

**(福岡市)**交通事業者に対して、障害者への対応など心のバリアフリー化が促進されるよう協力していく。

#### 行政情報の開示 市民の意見の反映

**(栃木)**市民の意見を市政に反映する行政運営を進めていくためには、市政情報の積極的な情報開示が必要で、行政の透明化についてどのように取り組めますか。

#### 情報公開制度を 総合的に見直す

**(福岡市)**市民参加と市民に対する説明責任を果たすために行政の透明化をすすめる。市民の信頼を一層確保できるように、情報公開制度の総合的な見直しをおこなう。(山崎市長)



#### 障害者の要望に約束、バス路線も便利に

(写真 接客技能の向上を要望するじさん・中央)

西鉄は、車いす用の低床スローバス104台を沿線に病院や障害者施設などの多い市内の10路線に4月1日より集中配備しました。そのような折、日頃からスローバスを利用しているUさん(27歳)は、交通従事者への接客技能のいっそうの向上を市議会に要望した結果、西鉄と協議する運びに。西鉄はUさんの要望に対して、スローバスを障害者により利用しやすくすることを約束。また、運転士の車いす操作や気配りのある対応など接客技術の向上のために教育訓練を実施するにあたり、福岡市の協力を得て障害者や介助ボランティアを招き、経験に裏打ちされた助言や提案を活かしたいと言っています。

#### 「平尾新町」に新バス停、間もなく発車オーライ

(写真 新バス停の予定地「平尾新町」)

国道263号線(早良街道)の富士ヶ丘バス停と公民館前バス停の中間点(早良区早良1丁目の第2川浪病院前)にバス停が新設されます。両バス停の間隔はおよそ500メートルも離れており、病院を利用するお年寄りや体の不自由な方など周辺住民の皆さんからバス停の新設について、かねてから強い要望が寄せられており、このたび実現することができました。新バス停は5月にスタートする予定で、名称は「平尾新町」。旧地名から名付けられました。